

令和3年度 第1回 東海村スポーツ推進計画推進委員会会議録

1	開催日時	令和3年11月9日(火) 18時30分から19時50分まで
2	場所	東海村歴史と未来の交流館 活動室2
3	出席者 (敬称略)	<p>&lt;委員&gt; 塚原美光, 黒羽根史朗, 吉沼玲子, 藤田洋一, 田畑由紀子, 小泉親彦, 竹下浩一, 小川満, 松坂晃, 杉山章子, 橋本礼子, 久保田泰世, 植田裕美</p> <p>&lt;事務局&gt; 庄司真澄(教育部長), 千葉道明(生涯学習課長), 物井聡(生涯学習課課長補佐), 川崎彰利(生涯学習課主任), 江川沙莉菜(東海村文化・スポーツ振興財団スポーツ振興係)</p>
4	欠席者 (敬称略)	鈴木範英, 石丸美代子
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	協議・説明事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海村スポーツ推進計画の計画期間延長について</li> <li>・コロナ禍におけるスポーツ活動の在り方について</li> </ul>
8	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海村スポーツ推進計画の計画期間延長について《資料1》</li> <li>・コロナ禍におけるスポーツ活動の在り方について《資料2》</li> <li>・参考資料①令和3年度東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート(R3.11.9時点)</li> <li>・スポーツフェスタTOKAI2021チラシ, 参加申込書, 参加申込状況(R3.11.8時点)</li> </ul>
9	発言内容	<p>■議事進行：塚原委員長</p> <p>(1) 東海村スポーツ推進計画の計画期間延長について</p> <p>○ 配付資料の説明…資料1 委員) コロナ禍での活動制限の影響で子どもの体力が低下している。今月開催予定のスポフェス等の活動を中心に, 子どもの運動習慣をコロナ禍の前に戻していく必要がある。</p>

委員長) コロナ禍でのスポーツ活動をどう評価するか。過去に経験のない状況であり、予定どおり次年度当初にアンケートを取っても比較が難しい。計画期間を1年延ばすことで、スポーツ活動が再開された状況での意見を集めることができる。各委員がコロナを踏まえての活動を評価する時間も必要だと考える。国の緊急事態宣言中は村も公共施設が休館となり、SCスマイルTOKAIも活動ができなかった。

委員) 子どもは体力も気力も低下しているように感じる。スポーツ少年団の団員も減少している。活動を元に戻していくための働きかけや仕掛けが必要ではないか。

委員長) 休校で登下校をしなくなったことで、子どもの体力が落ちたように思う。

委員) 休校中は家でゲームをする時間が長くなり、体力が落ちたように感じる。9月から学校が再開したが、分散登校で1日おきの登校でも疲れているように見えた。

委員) 高齢者クラブも公共施設の閉館に伴い活動が減少した。阿漕ヶ浦公園も閉園となり、活動の場がなくなった。

委員) 子どもや高齢者が集まって活動できない状況。運動の機会や活動の減少によって体力低下といった変化を実感した。コロナで活動が制限されたことで、スポーツの必要性、重要性が再確認されており、今はスポーツをPRするチャンスのあるときでもある。当委員会でも計画の評価だけでなく、このチャンスを活かすような提言をし、取組を生み出す場としたい。

委員) 休校の影響は大きかった。中学校の部活動も様々な大会が中止となったが、活動の成果を発表する機会を確保するため、村内での大会等を実施した。運動会も昼食なしで半日開催とするなど工夫しながら質を高めて開催した。夏場に強度の高い運動を行う際は、コロナより熱中症が不安であるためマスクを外して活動した。計画期間の延長については賛成であり、プラスアルファでコロナ禍でのスポーツ活動の取組みの評価を別途行うのもよいと思う。

委員長) 日常的な対策としては、マスク着用、手洗い、消毒、換

気など。子供たちがスポーツ活動を再開させるためには親の協力が大事。自分たちで検査できる体制づくりも必要ではないか。

**【結果】** スポーツ推進計画の計画期間1年延長について了承。

(2) コロナ禍におけるスポーツ活動の在り方について

○ 配付資料の説明…資料2

委員) リモート配信を活用することで、時間を選ばず参加できる。人を集める必要もない。自宅で受講できるためマスクの着用も不要となる。

委員) コロナ禍以前は職場で昼休みにウォーキングをする人が多かった。感染拡大の時期はだいぶ減ったが、今はだいぶ戻ってきている。子どもは一度運動から離れると自分で戻るのが難しい。大人がモチベーションを上げるきっかけを与えることも必要。

委員長) 家庭でできる運動プログラムを提供するのもよい。ゲームやパソコン等のやりすぎで昼夜逆転し、不眠症になる子どもが増えていると聞く。

委員) 子どもを連れてくると何か遊べるような仕組みがあるとよい。コストを掛けずに時間に余裕のある大人が運動遊びの場を提供する。

委員長) 運動やスポーツを行うにも、時間や場所の工夫が必要。施設ごとに実施しているコロナ対策の情報を発信することで、利用者が安心して施設を利用できるようになる。

委員) スポフェスはよい取り組み。「こうやればできる」という次につながる指標にもなる。前向きに実施してほしい。

委員) 阿漕ヶ浦公園の遊具広場は土日によく多くの人で密になるが、週末等は非常に賑わっている。公共施設でも安全性があるところは開放してほしい。

	<p>■その他</p> <p>事務局) コロナ禍におけるスポーツ活動の在り方については、リモートの活用や情報発信の在り方等、今後の計画の実現や見直しにつながるご意見をいただいた。コロナ禍での活動制限をスポーツの大切さをPRするチャンスと捉え、次年度以降の取組に反映させていく。</p>
<p>10 今後の予定</p>	<p>今年度の委員会は令和4年2月頃に第2回目を開催予定。</p>